

フジタ式拡底アンカー

逆エッジ型拡底アンカー

NETIS登録番号：KT-200056-A

拡底式ケミカル・アンカー

両刃拡底アンカー

NETIS登録番号：KT-190010-A

FSテクニカル株式会社

〒125-0054 東京都葛飾区高砂1-22-15

TEL 03-5671-3134 FAX 03-5671-3090

URL https://fs-tec.co.jp/

mail office@fs-tec.co.jp

〔拠点〕名古屋営業所 (TEL052-784-4707)、大阪営業所 (TEL06-6155-2233)、
札幌営業所 (011-200-0715)、九州営業所 (092-406-6953)、信州営業所 (026-388-9990)



逆エッジ型拡底アンカー
(フジタ式拡底アンカー)



拡底式ケミカル・アンカー



両刃拡底アンカー
(DGアンカー)

概要

フジタ式拡底アンカー(フジタ式アンダーカットアンカー)である逆エッジ型拡底アンカーおよび両刃拡底アンカーは、拡底式アンカーとして、NETISおよびJCAA(日本建築あと施工アンカー協会)の登録・認証を取得している。これら2技術と拡底式ケミカル・アンカーは、抜け出しがなく、ボルト破断または部材破壊に到達する設計となっており、孔底部を専用機材・遠心拡張ビットによってアンダーカット作業を行うことから施工精度にバラツキがなく、確実に安全な施工が可能となる。

現在、国内で採用されている拡底アンカーの亀裂への対応力評価はコンクリート躯体に0.3mmの亀裂幅を作成し、引抜耐力の低減率で評価する欧州技術認証規格(EOTA)基準を指標としているが、今後発生が予想される巨大地震の際は、5mm以上の割れを想定する必要がある。

この想定に基づき、自社開発のひび割れ試験機により、逆エッジ型拡底アンカーは亀裂対応力がM-12で4.7mm未満、M-16で7.0mm未満およびM-20で9.9mm未満であることが、実証されている。

また、両刃拡底アンカーは建築吊ボルトや設備関係の軽量物専用開発されたアンカーで、使用する専用機材も軽量で扱いやすく、割れ対応力も従来技術の基準に比べて向上した。

【逆エッジ型拡底アンカー】

●特長

- ・引抜強度の全てがボルト破断となる
- ・施工部位に亀裂、割れが生じても抜け出ない
- ・アンカーボルトが取り替えられる
- ・孔底の拡張作業が30秒ででき、作業能率が優れている
- ・火災時の高温化でも強度の低下がしにくい
- ・JCAA:第19-0002号

【拡底式ケミカル・アンカー】

●特長

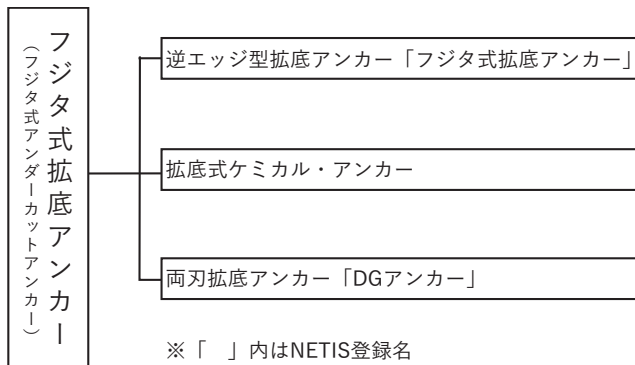
- ・引抜強度の全てがボルト破断となる
- ・一般のケミカルアンカーに比べ亀裂や割れに強い
- ・拡底作業が30秒、作業能率が優れている
- ・拡底式のため高温化でも強度が低下しない

【両刃拡底アンカー】

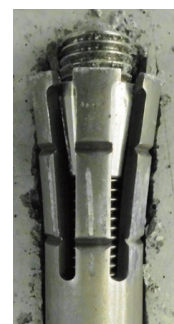
●特長

- ・2本の爪が拡底部の溝に入り込み、抜けにくい構造である
- ・施工強度にバラツキがない
- ・50kgの荷重で6万回の揺れ試験でも抜けにくい
- ・JCAA:第19-0002号

各アンカー拡底の状態



逆エッジ型拡底アンカー



拡底式ケミカル・アンカー



両刃拡底アンカー